

キャリア教育と進路指導

日々の学びと生活の経験を、本人が生き方や進路を考え、選び直す力につなげます。

捉え方	学校で確かめること
キャリア教育	社会的・職業的自立の基盤を育て、キャリア発達を支える。小学校から教育活動全体で進める。
進路指導	中学・高校では、生き方を考え、主体的に進路を選ぶことを組織的・計画的に支える。教育活動全体で行う。
両者のつながり	進路指導も日常の自己理解や学習と結び付く。進学先・就職先を決める直前の対応だけに狭めない。

職業や将来の夢が決まっていない状態も出発点です。選択の根拠と、相談・再検討する機会を大切にします。

学びと選択をつなぐ設計シート

小学校は日々の役割や学びの選択から、中・高校は進路の検討とも結び付けて使えます。

確認する項目	記入欄（案内文は書き換えて使えます）
対象・教科等・単元・選択の場面	
本人の関心・大切にしたいこと	本人の言葉と、これまでの経験を確かめる。
今ある選択肢と調べたい情報	費用・条件・支援など、必要な情報の確認方法も書く。
理由を考え、比べる学習場面	異なる考えを聴く場面や、見直す機会を用意する。
相談できる人・必要な支援	家庭事情などに配慮し、共有する範囲も確認する。
次の行動・担当・再検討する日	結論を急がず、次に何を確かめるかを決める。

低学年や支援が必要な児童生徒には、絵・口頭・代筆などで参加できる方法を選びます。

大切にしたいことと、次の選択

日付	年	組	名前	活動名
1 気になることや、大切にしたいことは？ まだ分からなくても OK。				2 考えている選び方は？ ほかの方法もありそう？
3 選ぶために、知りたいことや、相談したいことは？				4 次に確かめることを 1 つ。 だれと、いつ話す？ いつ考え直す？

答えが決まっていなくてもだいじょうぶ。個人的な事情は、先生と相談して話せます。

振り返りシートの記入例

書き方の例です。本人の経験と言葉を大切に、対話に生かします。

1 気になることや、大切にしたいことは？ まだ分からなくても OK。 ものづくりが気になる。 何を学べるか知りたい。	2 考えている選び方は？ ほかの方法もありそう？ 今は 2 つの学校が気になる。 まだ一つには決めていない。
3 選ぶために、知りたいことや、相談したいことは？ 授業の内容と通学の方法。 担任と相談して調べたい。	4 次に確かめることを 1 つ。 だれと、いつ話す？ いつ考え直す？ 来週、公式資料で授業を比べる。 翌週、担任ともう一度考える。

前のページの白紙シートを使い、次にすることや、相談したいことまで一緒に考えられます。

09 の授業と振り返りの例

以下は架空の例です。学校の目標や児童生徒の実態に合わせて組み替えます。

校種・場面	目指す姿・使い方	児童生徒の言葉の例
小学校 係や学びの選択	自分のよさと希望をもとに考える	絵をかくのが好きなので、案内を作ってみたい
中学校 進路を考える学習	学校名だけでなく、学びたい内容を 比べる	ものづくりを学べる授業や、通学の方法を調べ たい
高校 卒業後の進路検討	複数の選択肢と必要な条件を確かめ る	関心のある学び方について、費用と支援制度を 相談したい

中学校の架空例。「友達と同じ学校も大切。そこで何を学べるかも確かめたい」と話しました。先生は本人の理由を聞き、情報を比べる方法を一緒に考えます。

次の行動の例：来週、2つの学校の授業内容を公式資料で調べ、担任と話す。
翌週に選択肢を再検討する。

10 分の校内研修と参考資料

既存の学年会などで使えます。最後に、授業で試すことと確認日を 1 つ決めます。

2 分：既存の進路行事か日常の選択場面を 1 つ選ぶ。

5 分：本人の関心と、教科・生活の経験がつながっているかを話す。

3 分：相談や選び直しの機会を、いつ・だれが用意するか決める。

文部科学省の参考資料

中学校・高等学校キャリア教育の手引き（2023 年 3 月）第 1 章 pp.27-28、33

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_00010.html

小学校キャリア教育の手引き（2022 年 3 月）第 1 章 pp.25-26、31

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_01951.html

本資料は手引き等を参考にした吉田正之のオリジナル資料です。文部科学省の公式様式ではありません。
学校内の授業・研修に印刷・編集して使えます。ページ番号は冊子の表記です。

選択肢を比べる 20 分の対話

モデル案：中 3 ・進路を考える学級活動や個別相談。結論に必要な情報を自分で確かめる場面です。

ねらい：本人が大切にしたい条件と、確認済みの情報・まだ不明な情報を分けて考える。
準備：学校等の公式資料と比較表。家庭事情などの共有範囲は本人と相談し、個別に扱う。

時間	生徒が考え、行うこと	先生の問い・関わり
3 分	大切にしたい条件を選ぶ。まだ決めなくてもよい。	『今、気になることは？』 本人の理由を聞く。
5 分	候補の情報を、出所と一緒に書き出す。	『どの資料で分かった？』 事実と予想を分ける。
7 分	共通点・違いと、未確認の条件を比べる。	友達との関係も含め、大切な条件を確かめる。
5 分	次に調べることや相談先、再検討の日を考える。	結論を急がず、確認する方法を一緒に選ぶ。

進路を決める時期以外にも、係・教科・探究の選択で使えます。選択の結果だけで評価せず、比べた情報・本人の理由・必要な支援を見取ります。

選択肢と情報を比べるシート

記入内容は架空です。自分の候補と、実際の公式資料に置き換えて使います。

大切にしたい条件	A 案	B 案	根拠・次に確かめる方法
学べる内容	実習の内容が気になる。	探究の内容を知りたい。	公式資料の該当箇所： 次に質問する相手：
通い方・生活	通学方法は未確認。	家で過ごす時間も考えたい。	時刻表・学校説明会等で確認。
費用・利用できる支援	未確認	未確認	本人の希望に沿い、担任等と個別に確認。
自分が加えたい条件：			確認方法・相談先：

『友達と同じ学校』も本人にとって大切な理由の一つです。他の条件も確かめる機会を用意し、本人が説明・相談・再検討できるよう支えます。